

道路保全DXソリューション



『Road Vision』

デジタコ・ドライブレコーダーの振動・画像データから、
AIで道路の劣化・損傷状況を自動で分析・抽出し、
効率的な道路保全に貢献するサービス

背景・課題

高度経済成長期に整備した道路など国内のインフラの老朽化が進んでいる。
高齢化や人手不足など自治体では維持管理リソース・コストが課題となっており、
データを活用した効率的な修繕方法が求められている

課題への解決・特徴

- 1 「振動」×「動画」で道路の異常検知
デジタコで取得した異常な「振動」とカメラで取得した振動地点の「動画」両方を活用し
道路の異常を検知
- 2 「AI判定」による破損状態の把握
破損地点の画像データを「AIで解析」することで、破損の種類・破損レベル・修繕重要度等を
自動で判定
- 3 道路利用状況や時系列変化の可視化
確認したい地点の情報を深掘し、時間帯別の走行量などの「利用状況」や
破損状況の変化などの「時系列変化」を含めた可視化

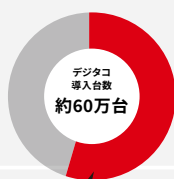
全国を走るデジタコ搭載車両から収集する走行データを自動収集し、
「道路舗装に役立てるデータ」に変換するAIサービス

矢崎デジタコ搭載車両

全国30万台以上搭載



その他営業車両



YAZAKI
市場シェア約50%以上
(30万台以上の商用車に装着)

- 矢崎のデジタコ・ドラレコを装着している商用車（トラック・バス・タクシー）及び地域の営業車両から走行データを自動収集
- 収集したデータを大手舗装事業者が共同開発したAIで自動分析・整理
- 見るべき価値ある情報を抽出し、事業者・自治体に通知